



**KAWASAKI  
NEWCITY  
FOUNDATION**

財団法人 川崎新都心街づくり財団

## 平成 17 年度 事業 報告

平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日

### I. 総合報告

今年度は、当財団の地域における街づくりに関する資料収集及び調査、文化活動、環境整備活動に重点をおいた活動方針であった。この点から見ると、柿生・岡上地区を中心とした懐古絵図事業への参画、文化団体との協賛活動、新百合ヶ丘駅周辺の美化活動（落書き消し）に参加するなど、計画を達成したものである。

また、本年度の主要活動である新しい市民利用施設については、傍聴の形で会議に毎月参加して情報収集活動及び委員と意見交換を行なうなど、当財団への受託活動に繋がったものと思われる。一方、行政とのマップ作成や協議会など共同活動については予算や計画が合わず、未達成（中止）の状況となっているものもある。

他方、充電期間と位置付けた本年の活動の中には、各種管理を行なえる準備を行なうことしてきた。

全体としては、コンパクトにまとまった活動結果となった。

### II. 事業内容

#### **(1) 街づくりに関する調査研究および資料整備**

- a) 麻生区の歴史調査研究
  - ・ 打ち合わせ回数 2 回（7,8 月）
  - ・ 柿生・岡上地区の懐古絵図事業とラップするので、当事業の事務局として活動することになる。
- b) 麻生区におけるビューポイント調査・整備事業
  - ・ 区役所独自で活動することになったので、当財団の活動としては予算の関係上中断とした。
- c) 新しい市民利用施設に関する調査研究
  - ・ 会議傍聴回数：12 回
  - ・ 全体の流れとしては、当財団が管理関係について受託する雰囲気作りができたものと思われる。

## (2) 環境整備に関する活動

- a) 市民団体への協力  
場所の援助
  - ・ 会議室貸し出し回数：29回

## (3) 文化活動

- a) 2団体（KAWASAKI しんゆり映画祭実行委員会・麻生朗読の会）へ助成及び協賛活動を行った。
- b) ミューザ川崎のホールスポンサー
- c) 麻生らくがき消し隊
  - ・ 参加回数：2回（8,11月） 打ち合わせ：3回
  - ・ 駅を中心に3時間／1回程度の落書き消し活動を行なう。
- d) アートセンターの指定管理者受託について
  - ・ しんゆり映画祭を中心とした NPO 法人と協力して受託に向けて動することになる。
  - ・ 財団は建物の維持管理を中心に、NPO は運営を中心に活動する。

## (4) 広報活動

- a) 財団独自のホームページ (<http://www.kncf.net/>) の更なる充実化を行なった。
  - ・ デスクロージャーとして以下のものを公開する。  
事業報告書、収支計画書、正味財産増減計算書、貸借対照表  
財産目録、収支予算書

## (5) 各協議会、委員会などへの協力

- a) 川崎新都心街づくり推進協議会
  - ・ 交通部会（今年度は開催されず）打ち合わせ（川崎市役所）  
一方通行問題は、道路幅を狭めた双方向交通として市が計画。  
麻生9号線の拡張計画は棚上げとし、H20年度に正式に決定する。
- b) その他の協議会、委員会への参画
  - ・ 景観形成協議会5回（まちづくり局まちなみデザイン課）
  - ・ アートセンター説明会3回（市民局市民文化室）

- ・ 芸術のまちづくり推進委員会 1 回（市民局市民文化室）
- ・ 川崎まちづくりを語る会 1 回（区役所）
- ・ 都市マスまちづくり学校 8 回（市民の会）

## （6）賛助会費活動

会費納入金額：27 万円（法人 4 口 個人 50 口）

## （7）財団の事務報告・方針

- a) 理事会 4 回（5,7,12,3 月）開催する。
- b) 評議会 2 回（7、3 月）開催する。
- c) 運営コミッティ 2 回開催する。

### 協議事項

- ・ 次年度の事業計画について
- ・ アートセンターについて
- ・ 新しい市民利用施設について

以上